

## <戦略を展開するスタンス>

- ・「サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）」の実現
- ・課題の根源まで踏み込んだ「構造改革」を強力に推進

## <4つの基本戦略>

- ① **バックキャスト**の視点で将来を展望する
- ② 民間企業等、**多様な主体と協働**して政策を推し進める
- ③ **デジタルトランスフォーメーション（DX）**でスマート東京を実現
- ④ 時代や状況の変化に弾力的に対応**「アジャイル」**

## 「未来の東京」戦略

～渋谷・後藤の精神を受け継ぎ、  
新たな地平を切り拓く～（令和3年3月）

「サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）」の実現と課題の根源まで踏み込んだ「構造改革」を基本スタンスとし、目指す2040年代の東京の姿である「ビジョン」を掲げ、その実現に向けた「戦略」と「推進プロジェクト」を提示

戦略本体



### 「未来の東京」戦略

令和3（2021）年3月  
東京都

～渋谷・後藤の精神を受け継ぎ、新たな地平を切り拓く～

政策を  
バージョンアップ



### 「未来の東京」戦略 version up 2022（令和4年2月）

東京2020大会と新型コロナとの闘いの中で生じた様々な変化変革を踏まえ、政策をバージョンアップ

「成長」と「成熟」が両立した  
未来の東京

政策を  
バージョンアップ



今回

これまでの常識が通用しないグローバルな課題の発生や急速な少子化の進行など、これらに先手先手で対応するためバージョンアップ

# 2030年に向けた「戦略」

## 戦略1 子供の笑顔のための戦略

子供の笑顔と子供を産み育てたい人で溢れ、  
家族の絆と社会が支える東京



子供が笑顔になると、周りの人も自然と笑顔になる。子供目線に立って、出産・子育てに関わる家族の負担を社会全体で支え、子供が過ごしやすい地域のまちづくりを進めるとともに、社会のマインドチェンジを図ることで、子供が笑顔で、子供を産み育てることに喜びを感じる人で溢れる社会を目指す。

### 1 子供や子育て世帯に寄り添い、あらゆる負担を徹底的にサポートする

- ・ 子供が健やかに育つことができるよう、産前から出産、子育てが終わるまで、子育て世帯が直面する様々な困難に寄り添い、切れ目なく、多面的な支援を徹底する。
- ・ 「子供を大切にする」視点から、都が率先して子供の声に耳を傾け、子供目線に立った政策を展開する。

### 2 子供目線に立って、身近な地域のまちづくりや政策を、都が徹底支援する

- ・ 子育て環境の整備や、公園や遊び場など子供が過ごしやすいまちづくりなど、地域での健やかな子育てに全力で取り組む区市町村を、都が強力に支援する。
- ・ 産官学民の様々な力を結集し、子供や子育て世代に優しいまちを創出する。

### 3 「チルドレンファースト」を社会に浸透させる

- ・ 「子供を大切にする」ことを最優先とする社会に向け、産官学民が協働したムーブメントを展開し、社会全体のマインドチェンジを図る。
- ・ 若い世代が「子供と触れ合い、子育ての楽しさと大切さを学ぶ」教育を推進する。

# 2030年に向けた「戦略」

## 戦略7 「住まい」と「地域」を大切にする戦略

誰もが集い、支え合う居場所・コミュニティが  
至る所に存在する東京



高齢化や世帯の単身化が進む中で、人と人がつながりを保ち、支え合いながら暮らしていくことができるよう、「住まい」と「地域」を大切にする視点から新たな住宅戦略を展開するとともに、リアルとバーチャルのハイブリッドによる様々な形の「居場所」の創出や、セーフティネットの強化、地域コミュニティの活性化に向けた取組を強力に推進する。

### 1 人や地域に焦点を当てた、新たな住宅戦略を展開する

- 住宅セーフティネットとしての役割を踏まえつつ、都営住宅など公的住宅の建替えを梃子に、まちを動かすプロジェクトを展開するとともに、人や地域に着目した様々な施策を推進するなど、民間や区市町村を含め、東京全体を視野に入れた新たな住宅戦略を強力に展開する。

### 2 人が集い、気持ちを分かち合える「居場所」を創出する

- まちの至る所にリアルとオンライン双方の強みを活かした様々な「居場所」を創出し、様々な人が社会とのつながりを保ち、心豊かに暮らせる環境を整える。
- 悩みや不安を抱える人が社会から孤立しないよう、相談支援体制の充実など、多面的なサポートを講じることで、セーフティネットをより強固なものとする。

### 3 新たなつながりを生み出し、コミュニティを元気にする

- 各地域の大学と町会・自治会が連携し、学生が地域課題の解決に参画するなど、新たなつながりを生み出すことを通じて、地域コミュニティ活動の活性化につなげる。
- 企業のCSR活動やNPO等と連携して、「居場所」創出や地域活動の活性化を担える様々な人材を発掘・育成し、交流の輪を広げていく。

- このほか、「戦略2 子供の『伸びる・育つ』応援戦略」や「戦略5 誰もが輝く働き方実現戦略」など、全ての子供・若者が健やかに成長し、円滑に社会生活を営むことができる社会の形成に資する戦略を展開

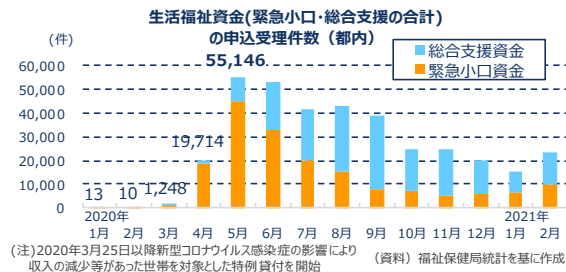
# 「未来の東京」戦略

コロナ禍で、つながりが失われ、望まない「孤独・孤立」に陥る人を取り残さない

## コロナ禍で、社会に取り残される人が増えている

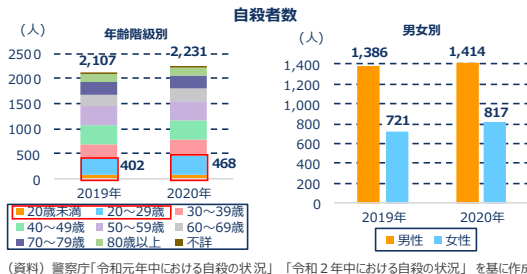
### 生活に困窮する方の増加

- 失業者の増加等により、2020年4月以降、生活福祉資金の申込受理件数は大幅に増加。
- 生活に困窮する方の社会的孤立を防ぐための取組が必要。



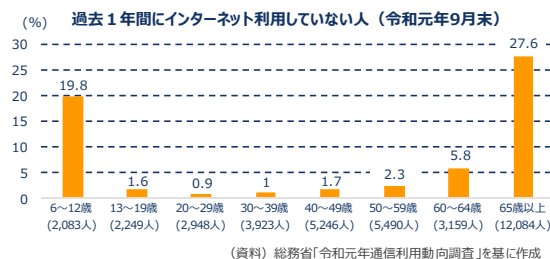
### 自殺者数の増加

- 自殺者数は、前年と比べ増加傾向。特に女性や若年層の自殺が増加。
- 今後も自殺者数の増加が懸念されることから、支援の強化が必要。



### デジタルデバйдによる孤立化の懸念

- 1年間で一度もインターネットを利用したことがない高齢者が4分の1を占める。
- DXが進む中で、デジタルデバйдによる孤立化が懸念される。



「孤独・孤立」に着目した対策・支援が必要

## 望まない「孤独・孤立」に対し、人々の不安や悩みに寄り添う、多面的かつ重層的な対策を展開

### 対象に応じた相談や支援を充実・強化

<p><b>生活困窮者等の生活を守るための支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 離職者等への生活・居住・就労支援</li> <li>● 解雇・雇止めになった方等への再就職支援</li> <li>● フードパントリーを設置し食料を提供等</li> </ul>	<p><b>子供や若者の悩みや不安に寄り添う支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供食堂等の居場所確保</li> <li>● スクールソーシャルワーカーによる相談支援</li> <li>● 若者総合相談センター「若ナビα」による相談等</li> </ul>
<p><b>高齢者の介護予防・見守り</b></p>	<p><b>DVなど悩みを抱える女性への支援</b></p>
<p><b>障害者が地域で安心して暮らせる環境整備</b></p>	<p><b>ひきこもりの当事者・家族の状況に合わせた支援</b></p>
<p><b>ひとり親・高齢者等の入居を拒まない住宅の供給・居住支援</b></p>	<p><b>外国人との共生・相互理解</b></p>

### 包括的な相談支援体制整備、実態把握等の分野横断的な対策を推進

<p><b>命を守る自殺防止対策を強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話やSNS等の回線数の増加を図るなど、相談体制を充実</li> <li>● セルフケアや支援策を案内する離職者等向けリーフレットの作成・配布</li> <li>● 相談体制の拡充や感染症に関する環境整備を行う区市町村や民間団体を支援</li> <li>● 自殺のサインへの気付きや対応を行うゲートキーパー等の普及啓発等</li> </ul>	<p><b>「孤独・孤立」の実態を把握し、効果的な対応策を検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 都内における孤独・孤立に関する支援の状況から実態を把握し、NPOなど民間との連携も含めた、効果的な対策を検討</li> <li>● ヤングケアラーに関する国調査を基に、都内の実態を把握した上で、子供家庭支援センター、学校を通じて詳細な実態を把握</li> </ul>	<p><b>デジタル化に取り残される人を生まない</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタル環境の整備や、デジタル活用支援を行う区市町村を支援</li> <li>● 高齢者等がスマートフォンを安心して活用できるよう、通信事業者等と連携</li> <li>● 地域におけるデジタルデバйд対策につながる取組を行う町会・自治会を支援</li> </ul>	<p><b>「誰一人取り残さない」相談支援体制を整備・充実・強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全区市町村に属性や世代を問わない包括的な相談支援体制を整備</li> <li>● 子育ての悩み相談や自殺防止のための相談など各課題への相談体制を、チャットやSNSの活用、夜間対応などにより強化</li> </ul>
<p><b>「つながれる」場を地域に創出</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 町会・自治会の見守り活動等による地域の結びつき強化</li> <li>● 人がつながる多様な居場所の創出</li> </ul>		<p><b>「つながれる」場を地域に創出</b></p>	

# 「未来の東京」戦略 version up 2023

誰もが個性を活かし、力を発揮できる社会

様々な困難を抱える方々を支えるセーフティネットを一層充実

戦略7

- 孤独に苦しむ若年層への自殺対策の強化を図るなど、コロナ禍や物価高騰等の長期化において顕在化・深刻化した孤独・孤立等への取組を一層強化する

令和4年度補正予算において、燃料費や物価高騰等の影響の長期化・深刻化から都民生活を守るため、**経済的に厳しい環境に置かれた方への支援等**について、以下のような**緊急支援を実施**


## 生活困窮者自立支援の機能強化

- 自立相談支援機関窓口の体制強化や、債務整理等に係る弁護士による相談支援の拡充、生活困窮者支援に係る区市の取組に対する包括的な支援を実施

## 医療機関等への物価高騰対策

- コロナ禍での物価高騰への緊急対策として、医療機関（病院・有床診療所）の光熱費や食材料費の負担軽減に向けた支援を実施
- ※ 保護施設、介護サービス事業所、特別養護老人ホーム等、保育所等、障害者支援施設等、障害福祉サービス事業所に対しても、物価高騰に係る緊急支援を実施

## 東京おこめクーポン事業

- 物価高の影響を受けやすい低所得世帯の生活を支援するため、国産の米や野菜などの食品と引き換え可能なクーポンを配付
- 

## ひとり親世帯への支援

- コロナ禍やウクライナ情勢の影響により雇用が不安定となったひとり親に対する就業支援を実施
- ひとり親家庭の生活安定を図るため、区市における養育費確保の取組を促進

## 都立学校における給食費支援

- 都立学校給食の提供を受けている児童・生徒の保護者を対象に、主食となるパン・麺・米の物価高騰に伴う給食費の価格上昇分を補助し、豊富な品目、栄養バランスの取れた給食を変わらず提供

## 離職者等の人材マッチング支援事業

- コロナやウクライナ情勢の影響に伴う離職者等と、人材確保意欲の高いIT等の成長産業に属する企業や、物価高騰等を踏まえ業態転換等を図る企業との大規模なマッチング機会を提供

引き続き、様々な困難を抱える方の状況に応じた支援を一層充実

## 1. あらゆる人々や属性にまたがる取組を強化

### 包括的な自殺総合対策の強化

- ・ 東京都自殺総合対策計画の改定（令和5年3月改定予定）を行い、都民への自殺対策を一層強化
- ・ 大学等における自殺対策推進のための動画コンテンツの作成など、若年層の自殺対策を強化
- ・ 自死遺族のための相談窓口を設置するなど、遺族への支援対策を強化
- ・ 東京都自殺相談ダイヤルの一部回線拡充やAIチャットボットの活用等を通じて、悩みを抱える方を早期に適切な支援窓口につなげる
- ・ NPO等民間団体への支援や連携を一層強化



令和4年9月自殺防止！東京キャンペーンチラシ

### 地域における相談支援の充実

- ・ 孤独・孤立対策等にも取り組む民生委員・児童委員等に対して、デジタル機器の利用に関する研修を行うなど、地域における活動を支援



民生委員・児童委員キャラクター「ミンジー」

### 様々な居場所づくり

- ・ 日本語を母語としない子供等が集う「多文化キッズサロン」の設置支援や、孤独孤立等を感じる子供・子育て家庭がSNS上で相談可能な「バーチャルな居場所」づくりを実施



# 「未来の東京」戦略 version up 2023

誰もが個性を活かし、力を発揮できる社会

様々な困難を抱える方々を支えるセーフティネットを一層充実

戦略 7

## 2. 様々な困難を抱える方の状況に応じた支援も一層充実

### 子供



- 多摩地域の管轄区域の見直しや民間事業者等の活用などにより、児童相談所の体制を一層強化
- 社会的養護経験者(ケアリーバー)に対し、一人暮らし支援の期間を拡充するとともに、相談支援体制を強化
- 不登校に対応する専門教員等の配置や、効果的な体験プログラムを提供し社会的自立を支援するなど、校内ならびに学校外における不登校対応を強化



### 若者



- 「若ナビa」において、若者の多様なニーズに対応し支援を提供するため、AI等を活用した相談ツールを新たに導入
- 悩みや不安を抱える若者に支援機関等の情報を広く発信し、後押しを行う若者応援プロジェクトを推進
- 青少年の抱えるネット・スマホ等のトラブル相談窓口である「こたエール」について、新たにチャットボットを導入するなど、相談機能を強化

若者応援プロジェクト

### 女性



- 配偶者暴力に関し、暴力の防止と被害者の保護を図るため、都としてグループワーク等のプログラムを実施し、加害者対策を推進
- LINEを活用した配偶者やパートナーからの暴力被害に関する相談を実施
- 夫婦や親子問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントや配偶者暴力等、男性の抱える様々な悩みについての相談も実施



### 外国人



- リーフレット等を用いた「やさしい日本語」の活用促進等、日本人と外国人が共に活躍できる環境整備を一層推進
- 地域の多様な関係者が参画する新たなネットワークの構築等、多文化共生に関する地域の連携や取組を強化
- 「多文化キッズコーディネーター」を配置する区市町村を支援するなど、日本語を母語としない子供とその保護者の困りごとや悩みに寄り添い、適切な支援や情報につなぐ体制を強化



### ひきこもり



- ひきこもり支援プログラムを改定し、中高年層を含む全ての世代を対象とした支援を充実
- リーフレットやポスターの作成、ネット・コンビニ広告の実施等、都民等へひきこもり支援に係る普及啓発を強化
- ひきこもりサポートネットにおける相談支援体制の拡充、相談窓口を設置する区市町村への支援等、取組を強化



### 高齢者



- スマホの使い方に関する身近な相談の場を設置し、デジタル活用を支援
- 身近な場でスマホの使い方等を教える「TOKYOスマホサポーター」の裾野の拡大を推進

### 障害者



- 難聴児支援に係る、相談対応等を行う中核的機能の整備を実施
- 地域の相談支援体制の整備を図るため、アドバイザー派遣等により、地域におけるネットワーク構築を支援

### 生活困窮者



- 生活困窮者と繋がる社会福祉協議会等に対し、フードパントリー支援を拡充
- 住居喪失不安定就労者等へ、サポートセンターによる居住支援等を実施し、支援が行き届くようアウトリーチを強化

### ひとり親



- ひとり親の方々のスキルアップや就職活動の支援を拡充
- ひとり親のスキルアップ訓練等を早期に実施するため、重点的な広報の実施により対象者からの申込みを促進

### 犯罪被害者等



- 性犯罪・性暴力被害者支援の充実を図るため、協力を依頼している医療機関の拡充等、関係機関の連携を強化
- 痴漢撲滅に向けて、民間事業者との協働によるムーブメント創出や、痴漢撲滅キャンペーンの展開等を実施

### 性的マイノリティ



- 事業者への訪問支援等により、東京都パートナーシップ宣誓制度の普及・活用を促進
- LGBTの理解促進等を旨とする中小企業等に対して、研修・助言を実施

様々な不安や困難を抱える人々に寄り添い、誰一人取り残さない社会の実現へ



# 「未来の東京」戦略 version up 2023

チルドレンファーストの社会

次世代へ希望を引き継ぐ社会の実現

戦略 1・2・3・5・7

## 3. 全ての子供が自分らしく、健やかに成長できる社会づくり

主な現行対策

### ◆ 学校や教育現場における施策

- 区市町村の教育支援センターや不登校特例校の設置支援
- 不登校等を経験した生徒に学びの場を提供するチャレンジスクールの設置

### ◆ 医療的ケア児への支援

- 医療的ケアを実施する都立特別支援学校数の拡大
- 医療的ケア児支援センターを区部・多摩に開設
- 保育所等における受入体制整備

### ◆ 困難を抱える子供等へのサポート

- 小中高生に向けて相談窓口を記載したポケット相談メモを配布
- ヤングケアラーに対するピアサポート等の支援の推進
- 総合的ないじめ対策の推進

### ◆ 児童相談体制や社会的養育機能の強化

- 区市町村の子供家庭支援センターの体制強化
- 都児童相談所の体制強化
- 児童養護施設の機能強化
- 施設入所児童の自立支援

不登校・いじめ対策

- 不登校対応専門教員の配置や、校内の別室であれば登校できる児童・生徒への支援の充実
- 体験活動プログラムの提供を通じた社会的自立支援
- いじめの早期発見と深刻化の防止に向けた、教職員の対応力の強化や専門性の向上策の実施



得意な才能を伸ばす教育等

- 得意な才能ある児童・生徒に対し、現行の理数分野に加え、新たに芸術分野も支援



- 困難を抱える生徒の特性を把握し、一人ひとりに合った就労支援を実施

学節期の子育て

- フリースクール等に通う子供や支援団体へのアウトリーチ型ヒアリング、国内外の先進事例調査等を通じて、子供目線に立った政策を企画立案・実践



ヤングケアラーへの支援

- ヤングケアラーの社会的認知度を向上させる様々なコンテンツを当事者等と共に制作し、デジタルを活用した情報発信を展開
- 小中学校のスクールソーシャルワーカー活用を一層促進するとともに、都立高校のユースソーシャルワーカー（主任）を増員
- オンラインサロンやピアサポート等を行う団体への支援を拡充



児童相談所の体制強化

- 年々深刻化する児童虐待に迅速かつ確に対応するため、都と区市町村が連携し、児童相談体制を一層強化
- 都児童相談所においては、人員増をはじめ体制強化を図るとともに、児童相談所の新設等により、よりきめ細かな相談体制の整備を推進
- 区立児童相談所の設置が進められているものの、緊急性や重要性を鑑み、サテライトオフィスの設置や都児童相談所への子供家庭支援センターの分室設置などもあわせ、区市町村との連携により相談体制を強化
- 児童相談を担う人材の配置・育成や予防的支援の取組についても支援を実施

自殺対策

- 東京都自殺相談ダイヤルについて、相談体制を更に強化
- 大学等向け自殺対策用動画コンテンツの作成等、若年層対策を強化

医療的ケア児への支援

- 医療的ケア児の保育所等における受入のため、看護師の配置等に対する支援を拡充
- 医療的ケア児コーディネーター支援体制及び訪問看護ステーション体制の整備促進
- 障害者（児）ショートステイ事業により医療的ケア児等の短期入所の受入れ先不足へ対応



日本語を母語としない子供

- 日本語指導教室の設置など区市町村が行う外国人の子供の就学促進に関する取組を支援
- 子供とその保護者の困りごとに寄り添い、適切な支援や情報につなぐ「多文化キッズコーディネーター」を配置する区市町村をサポート
- 子供が集い・交流する「多文化キッズサロン」を設置する区市町村を支援



都市が発展する力の源泉である「人」への様々な支援を展開し  
次世代を担う子供たちに輝く未来を継承

- このほか、英語学習環境の充実等による英語力の向上や異次元のスタートアップ戦略による若者の起業支援など、子供・若者に関する様々な施策を強化